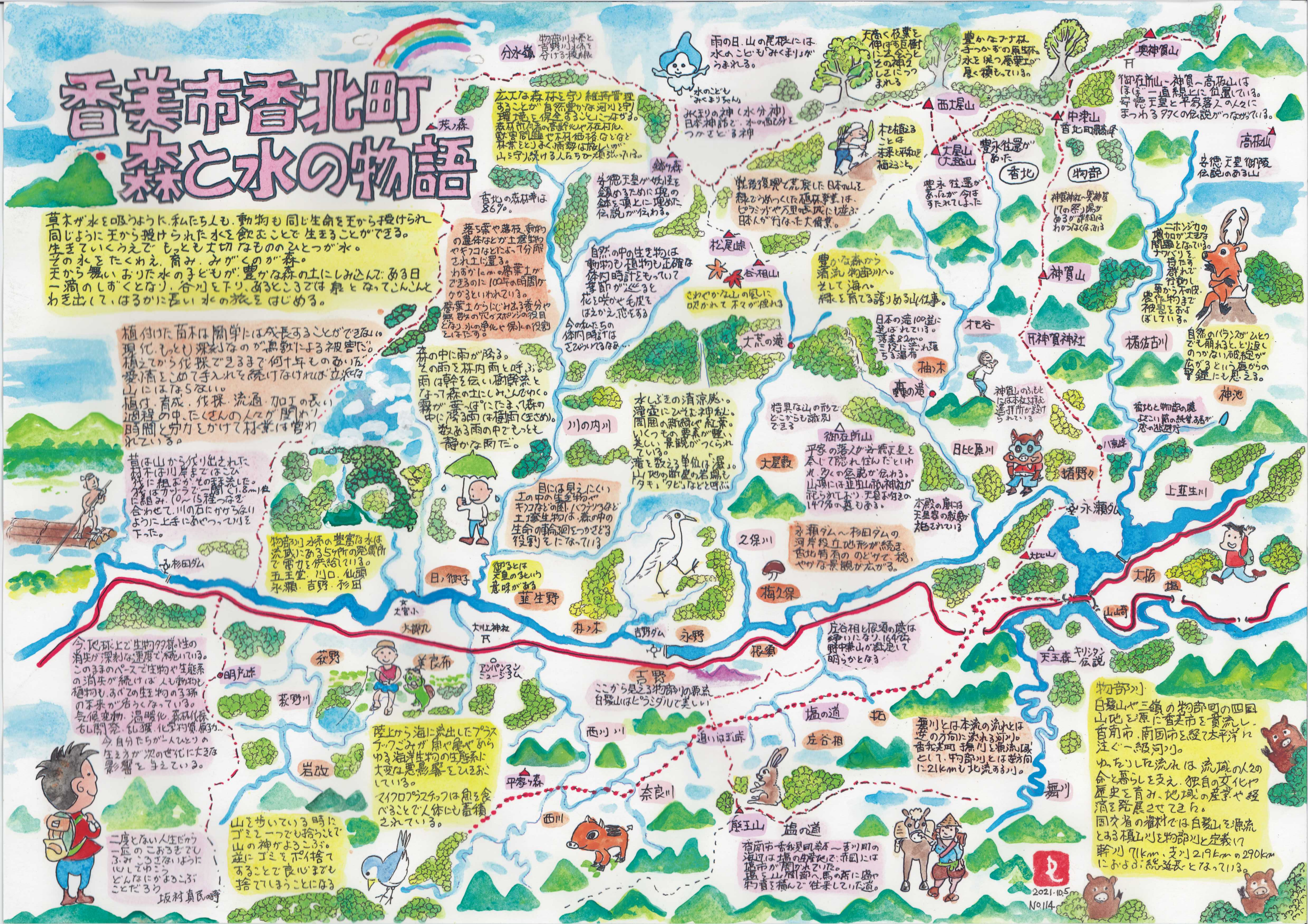
香美市香北町
森と水の物語

草木が水を吸うように、私たち人も、動物も同じ生命を天から授けられ同じように天から授けられた水を飲むことで生きることができる。
生きていくうえでもっとも大切なもののひとつが水。
その水をたくわえ、育み、みがくのが森。
天から舞いおりた水の子どもが豊かな森の土にしみ込んである日一滴のしずくとなり、谷川を下り、あるところでは泉となってこんこんとわき出して、はるかに長い水の旅をはじめる。



物部川水系と吉野川水系を分ける稜線

雨の日、山の尾根には水のこども「みくまり」がうまれる。

水のこども「みくまりちゃん」

みくまりの神（水分神）日本神話で、水の配分をつかさどる神

天高く枝葉を伸ばす巨樹に出会うとその神々しさにつつまれる

豊かなブナ林 手つかずの原生林。水を保つ腐葉土が厚く積もっている。

御在所山〜神賀〜高板山はほぼ一直線上に位置している。安徳天皇と平家落人の人々にまつわる多くの伝説がつながっている。

広大な森林を守り維持管理することが自然豊かな河川を守り環境を保全することにつながる。森林所有者の高齢化や不在村化、獣害問題や木材価格などなど林業をとりまく情勢は厳しいが山を守り続ける人たちが頑張っている。

木を植えることは未来と平和を植えること。

香北町最高峰

豊永往還があった

豊永往還があったが今はすたれてしまった

安徳天皇御陵伝説のある山

香北の森林率は86%。

安徳天皇が妖怪を鎮めるために鬼の鉢を頂上に埋めた伝説が伝わる。

戦後復興で荒廃した日本の山を緑でうめつくした植林事業は、ピラミッドや万里の長城にも並ぶ日本人が行なった大偉業。

神賀神社〜奥神賀 17の祭り場があるが詳細はわからなくなっている

ニホンジカの増加が大きな問題となっている。ナワバリを持たず群れで行動し草から木の皮、農作物まで被害をおよぼしている。

落ち葉や落枝、動物の遺体などが土壌生物やキノコなどによって分解され土に還る。わずか1cmの腐葉土ができるのに100年の時間がかかるといわれている。腐葉土からにじみ出る養分や無数の穴がスポンジの役目となり、水の浄化や保水の役割をはたす。

自然の中の生き物は動物も植物も正確な体内時計をもっていて季節が巡ると花を咲かせ毛皮をはえかえ、恋をする

今の私たちの体内時計はさびついてるなぁ…

さわやかな山の風に吹かれて木々が揺れる

豊かな森から清流物部川へ。そして海へ。緑を育てる誇りある山仕事。

日本の滝100選に選ばれている。落差82m。三段に流れ落ちる瀑布

自然のバランスがひとつでも崩れると、とり返しのつかない破綻が広がるという森からの警鐘にも思える。

植付けた苗木は簡単には成長することができない。現代、もっとも深刻なのが鳥獣による被害だ。植えてから伐採できるまで何十年ものあいだ愛情をこめて手入れを続けなければ立派な山にはならない。
植付、育成、伐採、流通、加工の長い過程の中、たくさんの人々が関わり時間と労力をかけて林業は営まれている。

森の中に雨が降る。その雨を林内雨と呼ぶ。雨は幹を伝い樹幹流となって森の土にしみこんでゆく。霧が葉っぱにたまって森の中に降る雨は樹雨（きさめ）。数ある雨の中でもっとも静かな雨だ。

水しぶきの清涼感。滝壺にひそむ神秘。周囲の新緑や紅葉。いくつもの要素が揃い、美しい景観がつくられている。
滝を数える単位は「瀑」。山地の断崖の岩場も「タキ」「タビ」などと呼ぶ。

神賀山のふもとには本社を拝む遙拝所が設けられている

香北と物部の境 よさこい節の純信お馬が恋の逃避行

特異な山の形でどこからも識別できる

平家の落人が安徳天皇を奉じて隠れ住んだといわれ、多くの伝説が伝わる。山頂には韮生山祇神社が祀られており、天皇お付きの147名の墓もある。

本殿の扉には天皇家の紋が施されている

昔は山から伐り出された材木は川岸まではこび筏に組み、その都度流した。筏はカヅラで一間（1.8m）柱に組み、10〜15筏つなぎ合わせて、川の石にかからないように上手にあやつって川を下った。

目には見えにくい土の中の生き物やキノコなどの菌、バクテリアなど土壌生物は、森の中の生命の輪廻をつかさどる役割をになっている

永瀬ダム〜杉田ダムの河岸段丘地形が続き、香北特有ののどかで穏やかな景観が広がる。

物部川水系の豊富な水は流域にある5ヶ所の発電所で電力を供給している。
五王堂、川口、仙頭
永瀬、吉野、杉田

御子とは天皇の子という意味がある

庄谷相と根須の境は峰になり、1644年野中兼山が裁定して明らかとなる

今、地球上で生物多様性の消失が深刻な速度で続いている。このままのペースで生物や生態系の消失が続けば人も動物も植物も、すべての生き物の子孫の未来が危うくなっている。気候変動、温暖化、森林伐採、乱開発、乱獲、化学物質、原子力…
今、自分たちが一人ひとりの生き方が次の世代に大きな影響を与えている。

ここから見える物部川の源流白髪山はピラミダルで美しい

陸上から海に流出したプラスチックごみが魚や鳥やあらゆる海洋生物の生態系に大変な悪影響をひきおこしている。
マイクロプラスチックは魚を食べることで人体にも蓄積されている。

舞川とは本流の流れとは逆の方向に流れる河川。香我美町撫川を源流域として、物部川とは逆方向に21kmも北流する川。

物部川
白髪山や三嶺の物部町の四国山地を源に香美市を貫流し、香南市、南国市を経て太平洋へ注ぐ一級河川。
ゆったりした流れは流域の人々の命と暮らしを支え、独自の文化や歴史を育み、地域の産業や経済を発展させてきた。
国交省の資料では白髪山を源流とする槙山川を物部川と定義して幹川71km、支川219kmの290kmにおよぶ総延長となっている。

二度とない人生だから
一匹のこおろぎでも
ふみころさないように
心してゆこう
どんなにかよろこぶ
ことだろう
坂村真民の詩

山を歩いている時にゴミを一つでも拾うことで山の神がよろこぶ。
逆にゴミをポイ捨てすることで良心までも捨ててしまうことになる

塩の道
香南市香我美町岸本〜吉川町の海辺は塩の生産地で、赤岡には塩市が開かれていた。塩を山間部へ、馬の背に塩や物資を積んで往来していた道。

2021.10.5
No.114